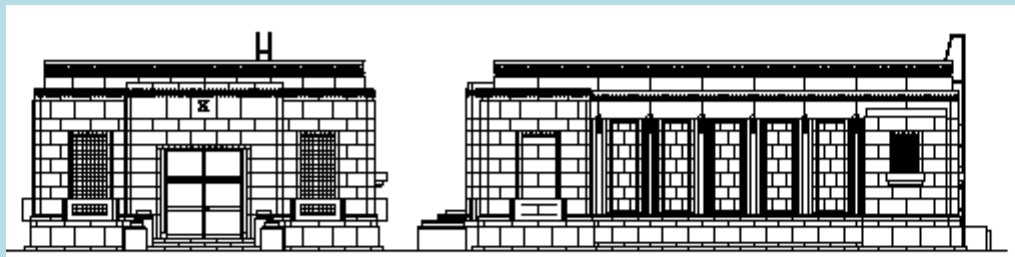


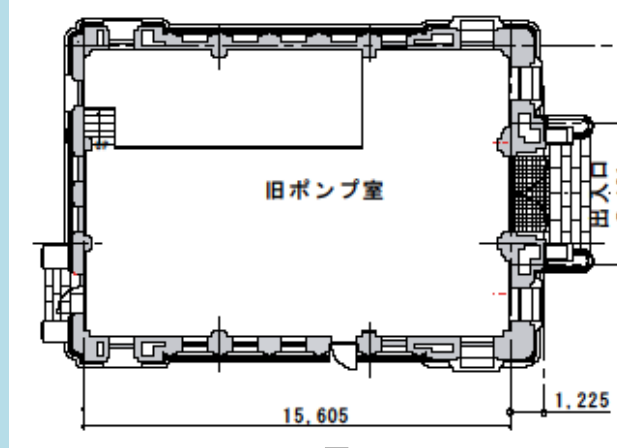
豊橋市上水道施設小鷹野浄水場旧ポンプ室（おだかのじょうすいじょうきゅうぼんぷしつ）：建築物
 1 棟/東小鷹野二丁目 9 - 3/鉄筋コンクリート造平屋建、建築面積 174 m²/昭和 4 年/豊橋市上下水道局

小鷹野浄水場旧ポンプ室は、浄水場敷地の南に位置し、正門を入った左側に正面を東に向けて建っています。ポンプ設備は、西島製作所が請負っていました。昭和 56 年（1981）の新たなポンプ室建設に伴い、この建物は薬品注入機室に改修されました。

規模は、間口 10.8m×奥行 15.6mで、建物の地下にはポンプ井がありました。外壁は、当初は記録によると寒水による洗出し仕上げで、目地を切って石積みのように見せ、腰壁は御影石を 3 段に分けて貼っていました。なお、壁の躯体内部は、厚みを出すため中空となる部分が存在するようです。また戦時中は、外壁が迷彩に塗られていたようです。



立面図



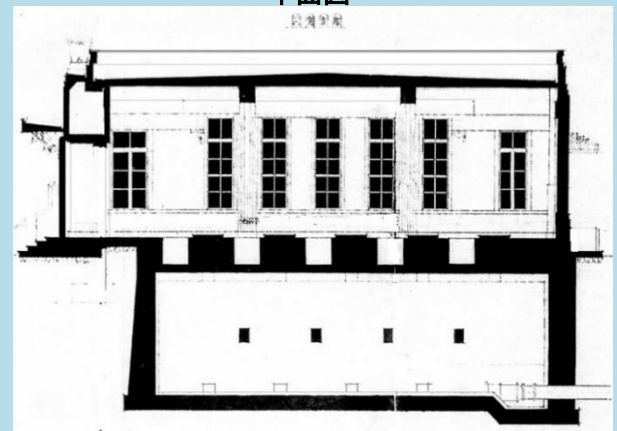
平面図



建設時のポンプ室外観

東面の両端と北・南面の東端の窓はバルコニー付きで、また当初は欄間窓付きの上下窓が南面と北面にありました。これら窓の間には柱型がモールディングにより造り出され、柱型上部には幾何学模様のテラコッタが縦に 3 つ付けられアクセントとなっています。さらに、すべての開口部の上部には歯飾り風の装飾で、壁面上部は断面三角形や平坦面を組み合わせた意匠のテラコッタが廻ります。

なお建設当初は、正面出入口には庇や飾り壺の装飾が見られ、階段脇には照明器具も設置されていました。このような建物の外観には、ルネッサンス風建築の影響が見られます。



当初設計図断面図



建設時のポンプ室内部